

評価実施日		平成 29年 2月 22日 (水)	
委員	氏名	所属等	備考
	小田 清隆	愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科特任准教授	
	喜安 光男	地域代表、松前町社会福祉協議会会長	
	栗田 小由紀	保護者代表、PTA副会長	
	山本 恵	伊予市立港南中学校長	
	芳野 茂樹	中予地方局産業振興課地域農業室伊予農業指導班長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校運営、重点努力目標、教育活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域社会に根ざした教育の推進」「すべては生徒のために仕事をするー①生徒理解と向き合う時間の確保②凡事徹底③学力と進路保障等ー」の重点努力目標や職員への運営方針がよい。生徒を第一に考え、一人一人を見つめることがよくできている。</li> <li>・地域・保護者から「学ぶ楽しみややりがいがある学校だ」と信頼されており、生徒に活力と成長の実績がある。</li> <li>・マニフェストは数値化され、具体的で確かな指標になっている。数値では見えない「自己価値観」や「心の教育」の検証方法を研究してほしい。</li> <li>・頑張っ表舞台で輝く生徒もいれば、様々な困難な条件下で活動している生徒もいると思うので、一人一人に寄り添う教育を今後もお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も生徒を第一に、一人一人を見つめ、一人一人が輝く魅力あふれる学校づくりに「チーム伊予農」で取り組んでいく。地域社会に根ざし、今まで以上に地域に愛され必要とされる学校づくりに努めたい。現状に満足することなく、適切な数値目標を設定し、生徒の自己実現を図っていきたい。また、御提言いただいた心の教育については、日々の生徒とのふれあいを大切にし、ホームルーム活動等で自己有用感や自尊感情をはぐくんでいきたい。年3回実施している面接週間や心と体のアンケート等を通して、生徒理解や担任とのラポール形成に努めるとともに、教育相談課や人権・同和教育課との連携を密にして、一人一人の心に寄り添う教育活動を推進していきたい。</li> </ul>
<p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故（事故件数20件）を減らすために、原因を分析してほしい。実社会の一例としては、朝寝坊し慌てていて事故を起こす場合が多い。同様に、教職員の学校安全の自己評価が低い、教職員の目が厳しいのか。検証してほしい。</li> <li>・制服の変更、校則の見直し等、生徒の要望にも紳士に応える姿勢がある。中途退学者3名という数字は必ずしも少なくない。退学に至るにはいろいろな事情もあると思う。よろしく御指導をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に原因がある場合は、左右確認不足や前方不注意が多い。朝は5分前登校を呼びかけている。気の緩みがあるのか、帰宅時の事故が7割を占める。交通事故後の対応について、HRで生徒に指導しており、緊急連絡体制も整っているが、課題があると考える。通学路の変更等、具体的な事故防止策も講じているが、今後しっかり分析し声掛けをしていきたい。</li> <li>・中途退学生徒がでないよう魅力ある学校づくりの推進及び生徒個々とのコミュニケーションをさらに深めていきたい。</li> <li>・生徒の要望等を真摯に受け止め、今後も改善策を考えていきたい。</li> </ul>
<p>(3) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活躍の記事が驚くほど多く、在学学生、保護者の誇りであり、進学を考慮中の中学生の決断の決め手になる。部活動の加入率が高く、日頃の活動が総体や高文祭の出場者と成績に表れ、伊予農業のシンボルになっている。また運動会の種目の工夫やパネル絵の充実具合、各種大会への参加など、主体性を育てる教育がなされている。国体開催年であり、活躍を期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も部活動の加入率、県総体への出場者数、高文祭への出場者数の向上を目指した教育活動をすすめていきたい。また、来年度開催されるえひめ国体では、ライフル射撃部の強化指定校として、上位入賞目指した、一層の強化に努めていきたい。</li> </ul>
<p>(4) 厚生・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備について、保護者の理解をいただけるよう努めてほしい。また災害に対応した訓練や講習を多くしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連絡・連携を密にして、安心・安全な学校生活が送れるように、施設・設備の改修に努めたい。</li> <li>・避難訓練では、より実践的な行動力が身につくように工夫したい。また、救急法講習会には、できるだけ多くの生徒が参加できるように呼びかけたい。</li> </ul>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(5) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の授業評価や学校評価が高いのは素晴らしいが、考査中だけでなく毎日机に向かう工夫をして、家庭学習時間をもっと増やしてほしい。</li> <li>・ 教員の相互授業参観は学ぶことが多いと思うので、今後も研修に努めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活に対する評価が高いことに満足せず、授業研究等、研鑽に努める。確かな学力の定着に向け家庭学習が充実するよう、宿題や調べ学習の在り方等、具体的に研究・実践する。</li> </ul>
<p>(6) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立大学8名合格は素晴らしい。進路未定者が少なく就職・進学への出口保障がしっかりしている。ただ進路指導について保護者の評価が下がっている。将来への夢やモチベーションを高める指導をお願いしたい。</li> <li>・ 発達障害のある生徒の進路について、本人も保護者も将来の自立を心配している。熱心な御指導を引き続きお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国公立大学10名以上、松山大学20名以上を目標に進学指導の充実を図りたい。一方各上級学校の入試状況は毎年変動しているため、第一希望校への入学実現に向け、柔軟かつ適切に対応していきたい。</li> <li>・ 多様な就職希望者の希望や適性に応じた進路実現に向け、生徒・保護者や事業所と進路課との良好な関係構築に努めたい。</li> </ul>
<p>(7) 図書研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい伊予市の図書館が平成31年8月にオープンする。選書についてヤング・アダルトの要望が反映されるよう準備活動に参加してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書委員会活動として協力したい。</li> </ul>
<p>(8) 人権同和教育、教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールライフアドバイザーによる面談が充実している。今後も一人一人を見つめた指導をしてほしい。</li> <li>・ いじめかと思われる事態が発生したとき、学校ではどう対応しているのか。確かな方針や指導体制を伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度もスクールライフアドバイザーを配置していただくよう県へ要望している。学校全体で連携して生徒を見守ってゆきたい。</li> <li>・ 本校は少人数の実習等が多く、生徒に目が行き届く。アンケートの答えに表れた場合もすぐ対応している。教員と保護者との意思疎通を大事にしている。</li> <li>・ 「いじめ防止基本方針」を作成し（ホームページ掲載）、いじめに対して職員の意識統一を図り、未然防止、早期発見、早期対応を校内、関係機関と連携して行うよう組織化している。また、いじめ防止委員会を設置し、地域や関係機関と協議を行い情報を共有し連携を図っている。</li> </ul>
<p>(9) 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業祭など地域と密着した取組や保育園児との継続した食育交流など、体験型実践交流による生きたキャリア教育がなされている。農業クラブも「全国一」等、素晴らしい結果を残している。今後も食や農林業振興への高校生の参加や提案が期待される。専門性を生かした地域人材の育成が大事であり、E4プロジェクト等、各団体との協力や連携を引き続き強め主体的に活動してほしい。</li> <li>・ 大学農学部や農業大学校への進学者が増加しており、ありがたい。引き続き農業への関心や就農の意欲を持たせる指導をしてほしい。</li> <li>・ 松前町の裸麦プロジェクト、裸麦を使った新しいお菓子作りにも協力してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学科の特性を生かした事業を展開し、地域貢献につながる農業教育を推進する。</li> <li>・ 生徒の専門技術の向上を目指し、農業クラブ活動や各種コンテスト等に積極的に取り組む。</li> <li>・ 就農啓発講座等の実施を通して農業に興味を持つ生徒の増加につなげていきたい。</li> <li>・ 今後はさらに地域との結びつきを強め、地域の抱える問題について生徒自身が主体的に関わることにより、自分たちの生活する地域を知り、地域を愛する心を育て、地域社会や産業に貢献できる人材の育成を目指していきたい。</li> </ul>
<p>(10) 公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPは管理や更新がよくできている。毎日ほぼ400回以上見られており、活動の様子もよく分かる。もっと見ていただく工夫があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在のシステムでは、新規掲載や更新された内容が分かりにくく、サイトを探る状態である。来年度は、HPのシステムが変更予定である。同システムであっても、随時更新された項目など、HP上にて一目でリンクできるようにシステム変更を検討する。</li> </ul>
<p>(11) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際教育において、来年度、オレゴン州からの長期交換留学生の受け入れに御協力いただきたい。「山岡栄先生研究会」の発足は、創立百周年に向け素晴らしい取組であり期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際的視野をもった地域人材の育成の視点から、今後も留学事業に積極的に取り組んでいきたい。地域のご支援を賜りたい。</li> </ul>